

平成28年度

第2回

八雲町立図書館協議会議案

日 時 平成28年2月6日(月)  
午後4時00分

場 所 八雲町立図書館 集会室

八雲町立図書館

平成28年度第2回八雲町立図書館協議会議件一覧

区 分	番 号	件 名	結 果
議 案	第1号	平成27年度八雲町教育委員会事務事業評価について	
報 告	第1号	平成28年度八雲町立図書館・熊石総合支所図書室利用状況について	
報 告	第2号	平成28年度八雲町立図書館・熊石総合支所図書室事業実施報告について	
報 告	第3号	平成28年度読書感想文・感想画コンクール審査結果について	
報 告	第4号	平成28年度利用者アンケート集計結果報告について	
報 告	第5号	第2期八雲町教育推進計画前期の策定状況について	
報 告	第6号	専用の移動図書館車について ◎資料は当日配布します。	

# 平成28年度図書館所管事務事業の点検・評価について

## 1 事務事業の点検・評価の目的等について

- ・別紙 「八雲町教育委員会の事務の点検・評価実施要領」参照

## 2 事務事業の点検・評価実施の背景

- ・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い（平成20年4月1日施行）、毎年、事務の管理執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することになり、平成20年度より作成している。  
点検・評価する事業は、八雲町でも行っている行政評価（事務事業評価）に併せて、各種事務事業を点検・評価することにした。

## 3 平成28年度事務事業の点検・評価について

- ・平成28年度は、八雲町で行った行政評価（平成27年度主要事業＝政策的中心）を基本に平成27年度に行った事務事業を下記のとおり評価し、外部評価委員会に点検・評価を受けようとするものです。
- ・評価する事業は、八雲町総合計画の施策の体系で区分している。
- ・各事業の点検・評価は、別紙、事務事業・評価個別シートにより、事業の必要性や有効性・達成度・効率性を点数化して評価し、項目別点数による評価と担当課評価と説明を加えて作成した。
- ・なお、八雲町の評価シートのチェック項目に教育的項目や維持管理項目などを増やしている。
- ・評価個別シートは、事前に配布して委員に一度閲覧していただいて会議を開いている。

## 4 外部評価委員会での作業

- ・図書館では、従来から図書館協議会を外部評価委員会として、担当者から評価個別シートにより事業の内容や担当課評価などを説明し、委員より質問や確認をいただき、外部評価委員会から評価（A＝継続あるいは拡充、B＝事業に進め方を改善して継続、C＝事業規模・内容の見直しの検討、D＝廃止を含めた事業の抜本的な見直しの検討、この4点で評価）とともにコメント（例：担当課評価のとおり・事業の手法や効率化を図る・事業内容の見直し・事業の廃止）をいただいている。

## 5 平成28年度(平成27年度開催事業等)事務事業の点検・評価事業名

### ☆ 図書館評価事業

- 施策の体系 6章 学ぶ心を培い豊かな人間性を育むまちづくり
  - 2節 生涯学習
    - 1 細節 生涯学習の充実
  - 3 主要施策 図書館の充実
  - 4 施策 子どもの読書活動の推進

・評価事務事業名 おたのしみえいが会

・評価事務事業名 おたのしみこうさく会

## 教育委員会の事務の点検・評価の背景

### ■地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成20年4月1日施行）

#### （事務の委任）

第26条 教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その権限に属する事務の一部を教育長に委任し、又は教育長をして臨時に代理させることができる。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる事務は、教育長に委任することができない。

一～四 省略

五 次条の規定による点検及び評価に関すること。

#### （教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

1 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### ■点検・評価の具体的な項目は・・・

点検・評価の具体的な項目や指標を、国が基準を定める予定はない。

点検・評価の項目や指標、議会への報告や公表の方法などは、各教育委員会が実情を踏まえて決定する。

### ■「教育に関し学識経験を有する者」とは・・・

教育委員や現職教員・事務局職員等でない者で、公正な意見を述べる事が期待できる者。

教員経験者や大学の研究者などの教育についての専門家である必要はない。

### ■点検・評価の実施時期は・・・

法施行が平成20年4月1日であり、毎年点検及び評価を行うことになっているため、平成20年度中に点検及び評価を実施し、議会への提出及び公表を行うことが必要になる。

### ■議会への報告に当たっては・・・

提出後に議会で説明を行うことについては、法律上の決まりはないが、教育関係の常任委員会などで説明を行うなど、積極的に説明責任を果たすことが望まれる。

## 教育委員会の事務の点検・評価実施要領

### (趣 旨)

第1条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することになったことを受け、点検・評価の実施方法等を次のとおり定める。

### (点検・評価の対象)

第2条 点検・評価の対象は、教育委員会が所管する事務の管理及び執行の状況とする。

### (点検・評価の時期)

第3条 点検・評価は、年度間全体の取り組み状況について事後評価することとし、対象とする時期は、前年4月から当該年の3月までとする。

### (評価の方法)

第4条 教育委員会各課においては、所管する事務の管理及び執行の状況について、別紙の評価シートにより点検・評価するものとする。

### (外部知見の活用)

第5条 点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取する機会を設けるものとする。

### (教育委員会議への付議)

第6条 点検・評価に関する一連の作業を終了したときは、教育委員会議に付議するものとする。

### (議会への報告)

第7条 教育委員会議において決定した事項について報告書を作成し、議会に報告するものとする。

### (その他)

第8条 この要領に定めるもののほか、事務の点検・評価に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

### 附 則

この要領は、平成20年8月5日から施行する。

議案第1号 八雲町教育委員会事務事業評価について

平成27年度八雲町教育委員会事務事業・評価個別シート

平成 29 年 1 月 13 日 作成

			担当課(部局)	図書館	係	奉仕係			
施策の体系	章	6	学ぶ心を培い豊かな人間を育むまちづくり		施策コード	6. 2. 1. 3. 4			
	節	2	生涯学習		法的	法令	条例	その他	
	細節	1	生涯学習の充実		根拠等				
	主要施策	3	図書館の充実		実施	○ 直営	委託	その他	
	施策	4	子どもの読書活動の推進		方法				
評価事務事業名			おたのしみえいが会						

事業概要	平成11年9月現図書館オープン以降、旧図書館時代には無かった視聴覚ホールと視聴覚資料の有効活用の一環として、毎月1回定例事業として実施し、子どもから大人まで映画鑑賞の楽しさを体験し、関連する図書も利用してもらっている。								
事業の目的	(1)対象(誰を、何を対象としているのか)				(3)手段(どのような手法、手順で行っているのか)				
	幼児・児童・・大人				毎月定例事業として第2週土曜日午後1時から2時まで図書館所蔵の視聴覚資料で上映会を行う。毎回、上映した作品と関連する図書を紹介して図書の利用も促している。				
1 必要性	(2)意図(対象をどのような状態にしたいのか)				児童から大人まで文化事業に興味を持ってもらい、図書の利用促進を図る。				
	(1)町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 1 点								
	①法令等教育推進を図る上で必要な事業。				1点	⑥管理・運営に関する事業。 1点			
	②教育環境の整備及び町民の暮らしに役立つ事業で、当然の責務として町が行うべき事業。				1点	○ 追加事由 図書館を身近に感じ、視聴覚教育の一環として映画鑑賞を通じて感性を高めてもらう。 1点			
	③子どもから高齢者までを対象に生活する上で不可欠な事業。				1点	(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。			
	④町の特性や魅力を生かした取組など、戦略的な事業。				1点	身近に映画館の少ない地域事情もあり、大画面で映画鑑賞の機会は貴重である。			
	⑤民間等による実施も可能であるが、教育委員会が先導・補完しながら行う事業。				1点				
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等 計 1 点								
	①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。				1点	※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外) -			
	②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。				1点	(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。			
○ ③事業のマンネリ化を避けるため、事業の見直しを図ることによって、成果が上がってきている。				1点					
④限られた予算の中であっても、事業実施の優先性・必要性は高い。				1点	潜在的に大画面で映画を観たいというニーズはある。				
追加事由				1点					
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性 計 2 点								
	○ ①事業を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。				1点	⑤自主的な生涯学習活動の推進が図られる。 1点			
	○ ②事業の継続により、成果目標の向上が期待できる。				1点	(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。			
	③他に類似、重複した事業はない。				1点	原作本等を借りて行く利用者が増加している。			
	④町民参加の意識高揚が図られている。				1点				
3 達成度	(1)達成度の測定 計 点								
	区分		指標(算式)		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H27当初計画
	活動指標 ※具体的な活動の内容	指標①	回数			12	12	12	12
		(算式)							
		指標②							
	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標①	参加者数			116	165	161	170
		(算式)							
		指標②							
	①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。				1点	(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。			
	②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)				1点	月によって、参加者数の変動はあるが、参加した子どもたちは皆満足している。			
③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)				-1点					

4 効率性	(1)事業費の推移										計	0	点
	区分	単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H26事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額				
	事業費	千円						低下している	1点				
	(財源内訳)	国・道費	千円				区分(節)	金額(千円)	○	変わらない	0点		
		地方債	千円							上昇している	-1点		
		その他	千円						説明	図書館所蔵のDVD、ビデオを使用。			
一般財源	千円												
(2)手法の効率化										計	1	点	
○ ①現在の手法は、コスト削減にも寄与している。					1点	④法令等で実施内容や手法等が定められる。					1点		
②執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地はない。					1点	(説明)手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。							
③外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地はない。					1点	図書館所蔵資料を使用し、							

項目別点数による評価	項目別点数による評価結果	項目別点数表		必要性+有効性										高 達成度+効率性 低
	<b>B</b>	項目	点数	0	1	2	3	4	5	6	7	8~		
		1	必要性	2										6
		2	有効性	2										5
		3	達成度					○						4
		4	効率性	1										3
														2
														1
														0
														-1
														-2

一次評価(担当課評価)	担当課評価	<b>B</b>											
	※上記の結果を参考に、事業担当課として、町民ニーズ、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 ※評価は、次のA~Dによります。												
	<b>A 現状にて事業を継続または拡充 (必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも高い)</b>												
	現状のままで事業を継続					事業を拡充して継続							
	<b>B 事業の進め方の改善により継続 (必要性・有効性は高いが、達成度・効率性は低い)</b>												
	事業の簡素化、効率化による改善					執行体制の見直し(外部委託等)による改善							
	○ <b>事業手法の見直しによる改善</b>												
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善					住民参加等の推進による改善							
	<b>C 事業規模・内容等の見直しの検討 (達成度・効率性は高いが、必要性・有効性は低い)</b>												
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討					対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討							
必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討					他の事業、類似事業への統合・転換を検討								
計画期間の延伸、事業費平準化等を検討					その他								
<b>D 事業の抜本的見直しを検討 (必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも低い)</b>													
廃止			統合			縮小			凍結			新たな事業への転換	
※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇒					廃止可能		条件が整えば廃止検討可能			廃止は困難		その他	
説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。					今後の改善策等を具体的に記入します。							
	図書館事業として長年実施しているが、参加者数の増加に向けて、今後も周知方法等を検討したい。					これまで、図書館だより・ホームページ、館内にポスター掲示と利用者にチラシを配布。町内各小学校へもポスターを配布してきたが、今後は保育園及び関連施設にも周知して参加者の増加を図って行きたい。							

二次評価	外部評価委員会の点検・評価	☆コメント



平成27年度八雲町教育委員会事務事業・評価個別シート

平成 29 年 1 月 13 日 作成

		担当課(部局)	図書館	係	奉仕係		
施策の体系	章	6	学ぶ心を培い豊かな人間を育むまちづくり	施策コード	6. 2. 1. 3. 4		
	節	2	生涯学習	法的	法令	条例	その他
	細節	1	生涯学習の充実	根拠等			
	主要施策	3	図書館の充実	実施	○ 直営	委託	その他
	施策	4	子どもの読書活動の推進	方法			
評価事務事業名		おたのしみこうさく会					

事業概要	工作を通じて子どもたちに物を完成させる喜びを感じてもらうとともに関連する資料の利用拡大を図るため、平成11年9月現図書館オープン以降、毎月1回定例事業として「おたのしみこうさく会」を開催している。							
事業の目的	(1)対象(誰を、何を対象としているのか)	幼児・児童と保護者					(3)手段(どのような手法、手順で行っているのか)	
	(2)意図(対象をどのような状態にしたいのか)	創作活動に関心を深めてもらい、関連図書も利用してもらおう。					毎月定例事業として第2週土曜日午後2時から3時まで図書館職員が講師となり、季節にあった題材をテーマにした工作づくりを行う。	
1 必要性	(1)町関与の根拠(町が行う必要がある事業か)	計	2	点				
	○ ①法令等教育推進を図る上で必要な事業。	1	点	⑥管理・運営に関する事業。	1	点		
	○ ②教育環境の整備及び町民の暮らしに役立つ事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1	点	○ 追加事由	教育環境の整備	1	点	
	③子どもから高齢者までを対象に生活する上で不可欠な事業。	1	点	(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。				
	④町の特性や魅力を生かした取組など、戦略的な事業。	1	点	子どもの創作活動への意欲を高めるきっかけづくりとなっている。				
	⑤民間等による実施も可能であるが、教育委員会が先導・補完しながら行う事業。	1	点					
	(2)社会情勢や町民ニーズの変化等	計	1	点				
	○ ①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1	点	※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外)	-			
	○ ②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1	点	(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。				
	③事業のマンネリ化を避けるため、事業の見直しを図ることによって、成果が上がってきている。	1	点					
④限られた予算の中であっても、事業実施の優先性・必要性は高い。	1	点	親子で協力して創作活動を行うニーズは高まってきている。					
追加事由	1	点						
2 有効性	(1)成果・協働に対する事業の有効性	計	2	点				
	○ ①事業を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1	点	⑤自主的な生涯学習活動の推進が図られる。	1	点		
	○ ②事業の継続により、成果目標の向上が期待できる。	1	点	(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。				
	③他に類似、重複した事業はない。	1	点	毎年参加者は増加傾向にある。				
④町民参加の意識高揚が図られている。	1	点						
3 達成度	(1)達成度の測定	計	1	点				
	区分	指標(算式)		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H27当初計画
	活動指標 ※具体的な活動の内容	指標①	実施回数	回	12	12	12	12
		(算式)						
	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標②		人				
		(算式)						
		指標①	参加人数	人	101	184	253	260
		(算式)						
	指標②		冊					
	(算式)							
○ ①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1	点	(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。					
○ ②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1	点	子どもたちが興味を示す工作づくりを続けて行きたい。					
③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1	点						

4 効 率 性	(1) 事業費の推移 計 0 点										
	区 分	単 位	H25決算額	H26決算額	H27決算額	H27事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額		
	事業費	千円	3	3	2			低下している	1点		
	(財源内訳)	千円				区分(節)	金額(千円)	○ 変わらない	0点		
	地方債	千円				需用費	2	上昇している	-1点		
	その他	千円						説明	工作の材料費		
一般財源	千円	3	2	2							
(2) 手法の効率化 計 2 点											
○ ①現在の手法は、コスト削減にも寄与している。					1点	④法令等で実施内容や手法等が定められる。					1点
○ ②執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地はない。					1点	(説明) 手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。					
○ ③外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地はない。					1点	図書館司書2名で対応している。					

項目別 点数による 評価	項目別点数による評価結果	項目別点数表	低	必要性+有効性								高										
	A	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>3</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>2</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>1</td></tr> <tr><td>4 効率性</td><td>2</td></tr> </table>	項目	点数	1 必要性	3	2 有効性	2	3 達成度	1	4 効率性	2	→	0	1	2	3	4	5	6	7	8~
項目	点数																					
1 必要性	3																					
2 有効性	2																					
3 達成度	1																					
4 効率性	2																					
												5										
												4										
												3										
												2										
												1										
												0										
												-1										
												-2										

担当課評価	A	※上記の結果を参考に、事業担当課として、町民ニーズ、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 ※評価は、次のA~Dによります。
-------	---	--

A 現状にて事業を継続または拡充 (必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも高い)	○ 現状のままで事業を継続	事業を拡充して継続
B 事業の進め方の改善により継続 (必要性・有効性は高いが、達成度・効率性は低い)	事業の簡素化、効率化による改善	執行体制の見直し(外部委託等)による改善
	事業手法の見直しによる改善	住民参加等の推進による改善
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善	その他効果的・効率的手法の検討による改善
C 事業規模・内容等の見直しの検討 (達成度・効率性は高いが、必要性・有効性は低い)	制度・事業内容の全面的な見直しを検討	対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討
	必要性等を再検証し事業規模、計画等の見直しを検討	他の事業、類似事業への統合・転換を検討
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討	その他
D 事業の抜本的見直しを検討 (必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも低い)	廃止	統合
		縮小
		凍結
		新たな事業への転換
※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇒		廃止可能
		条件が整えば廃止検討可能
		廃止は困難
		その他

説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。	今後の改善策等を具体的に記入します。
	子どもたちにとって、今後も魅力ある事業となるよう努力して行きたい。	

A~現状のまま事業を継続または拡充 B~事業の進め方の改善により継続 C~事業規模・内容等の見直しの検討 D~抜本的見直しを検討

一次評価	外部評価委員会の点検・評価	☆コメント

報告第1号

平成28年度八雲町立図書館・熊石総合支所図書室利用状況について

(1) 八雲町立図書館(本館)

	開館 日数	利用者数			貸出冊数					来館者数
		一般	児童	計	一般書	児童書	雑誌	AV	計	
4月	25	1,206	351	1,557	3,455	2,123	261	190	6,029	3,610
5月	24	1,147	345	1,492	3,585	2,171	233	146	6,135	3,715
6月	26	1,241	320	1,561	3,424	2,181	284	157	6,046	4,257
7月	28	1,311	430	1,741	3,737	2,592	242	234	6,805	4,606
8月	29	1,232	502	1,734	3,374	2,381	240	245	6,240	5,013
9月	21	963	257	1,220	2,798	1,649	211	145	4,803	3,280
10月	26	1,249	315	1,564	3,739	2,255	284	212	6,490	4,211
11月	25	1,196	241	1,437	3,544	2,228	211	176	6,159	4,368
12月	24	1,074	243	1,317	3,571	2,450	245	124	6,390	3,779
1月				0					0	
2月				0					0	
3月				0					0	
合計	228	10,619	3,004	13,623	31,227	20,030	2,211	1,629	55,097	36,839
前年度	225	11,417	3,504	14,921	33,010	21,749	2,270	1,938	58,967	31,368
比較	3	-798	-500	-1,298	-1,783	-1,719	-59	-309	-3,870	5,471

(2) 移動図書館車

	利用者数			貸出冊数		
	一般	児童	計	一般書	児童書	計
4月						0
5月	53	155	208	107	606	713
6月	59	177	236	108	737	845
7月	59	184	243	131	770	901
8月	55	137	192	109	571	680
9月	56	172	228	105	646	751
10月	48	162	210	93	622	715
11月	58	145	203	149	645	794
12月	65	180	245	161	739	739
1月			0			0
2月			0			0
3月			0			0
合計	453	1,312	1,765	963	5,336	6,138
前年度	482	1,426	1,908	955	5,656	6,611
比較	-29	-114	-143	8	-320	-473

## (3) 団体貸出等

	団体貸出			借受冊数			
	一般書	児童書	計	一般書	児童書	雑誌	計
4月	185	184	369	33	1	0	34
5月	391	519	910	46	0	0	46
6月	203	573	776	19	2	0	21
7月	228	458	686	39	1	0	40
8月	253	454	707	24	5	1	30
9月	237	575	812	32	4	0	36
10月	221	430	651	34	7	1	42
11月	233	456	689	24	6	1	31
12月	251	479	730	34	9	0	43
1月			0				0
2月			0				0
3月			0				0
合計	2,202	4,128	6,330	285	35	3	323
前年度	1,890	5,191	7,081	293	16	1	310
比較	312	-1,063	-751	-8	19	2	13

## (4) WEB公開メールリクエスト利用状況 (5) 他館への貸出

	人数	冊数
4月	24	39
5月	22	54
6月	25	61
7月	21	60
8月	24	67
9月	15	48
10月	22	43
11月	21	52
12月	28	84
1月		
2月		
3月		
合計	202	508
前年度	176	520
比較	26	△12

	一般書	児童書	雑誌	計
4月	10	5	0	15
5月	7	0	0	7
6月	8	0	0	8
7月	4	0	0	4
8月	8	0	0	8
9月	5	1	0	6
10月	4	3	0	7
11月	10	7	3	20
12月	5	4		9
1月				0
2月				0
3月				0
合計	61	20	3	84
前年度	86	31	8	125
比較	△25	△11	△5	△41

## 平成28年度八雲町立図書館視聴覚ホール等利用状況

	視聴覚ホール		集 会 室		合 計		ホール展示
	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	
4月	15回	98人	8回	80人	23回	178人	2件
5月	9回	42人	7回	164人	16回	206人	2件
6月	17回	197人	10回	139人	27回	336人	3件
7月	12回	200人	9回	111人	21回	311人	2件
8月	12回	84人	7回	66人	19回	150人	2件
9月	13回	145人	14回	119人	27回	264人	2件
10月	15回	252人	7回	61人	22回	313人	2件
11月	17回	232人	8回	101人	25回	333人	2件
12月	16回	133人	4回	87人	20回	220人	1件
1月	回	人	回	人	0回	0人	件
2月	回	人	回	人	0回	0人	件
3月	回	人	回	人	0回	0人	件
合計	126回	1,383人	74回	928人	200回	2,311人	18件
前年度	122回	1,099人	79回	870人	201回	2,219人	15件
比較	4回	284人	△5回	58人	△1回	92人	3件

平成28年度 熊石総合支所図書室利用状況

	利用者数			貸出冊数		
	一般	児童	計	一般書	児童書	計
4月	35	5	40	114	25	139
5月	23	5	28	61	32	93
6月	35	3	38	87	27	114
7月	26	4	30	61	17	78
8月	50	2	52	84	46	130
9月	24	0	24	55	16	71
10月	50	3	53	93	40	133
11月	47	4	51	117	40	157
12月	43	3	46	116	39	155
1月			0			0
2月			0			0
3月			0			0
合計	333	29	362	788	282	1,070
前年度	295	51	351	696	388	1,084
比較	38	-22	11	92	-106	-14



## 平成27年度 読書感想文・感想画コンクール審査結果

◎鶴田知也賞 2篇

部 門	作 品 名	学校名	学年	氏 名
感 想 文 部 門	マララの勇気に教えられたこと	野田生中学校	2	渡 部 真 緒
感 想 画 部 門	黒人どれいを解放したリンカーン	落部小学校	5	相 木 萌 々 花

◎最優秀賞 4篇

・感想文部門 3篇

部 門	作 品 名	学校名	学年	氏 名
小学校低学年の部	フライパンじいさんのたび	東野小学校	2	三 田 憲 登
小学校高学年の部	戦争のひさんさ・未来への輝き	山崎小学校	5	中 嶋 愛 結
高校・一般の部	私の意志	八雲高校	1	関 口 真 琴

・感想画部門 1篇

部 門	作 品 名	学校名	学年	氏 名
小学校低学年の部	およいでいるぼく	八雲小学校	1	後 藤 凌

○優 秀 賞 18篇

・感想文部門 12篇

部 門	作 品 名	学校名	学年	氏 名
小学校低学年の部	ルルとララのカスタードプリンを読んで	雲石小学校	3	土 谷 ア ン ナ
	ありがとう みなさん	八雲小学校	2	中 山 心 葉
	うちゅうにいこう。	山崎小学校	1	中 嶋 悠 結
小学校高学年の部	ファールこんちゅう記を読んで	雲石小学校	4	棚 田 陸 斗
	楽しい学校とは	山越小学校	6	勝 谷 凧 沙
	私を救った広い世界	東野小学校	4	菊 地 摩 弥
中 学 校 の 部	愛に満ちた画家たち	八雲中学校	3	野 島 夕 実
	この悔しさをバネに	熊石第二中学校	3	神 原 圭 介
	罪の重さと罰の重み	八雲中学校	2	鈴 木 優 伽
高校・一般の部	愛情と予測	一 般		大 須 賀 聖 子
	14歳の君へを読んで	八雲高校	1	高 田 優 那
	「与える」という愛の形	八雲高校	2	川 本 修 平

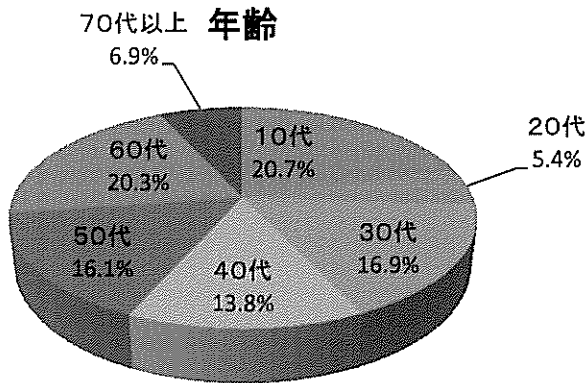
・感想画部門 6篇

部 門	作 品 名	学校名	学年	氏 名
小学校低学年の部	おいしいパンがやけたよ	東野小学校	2	板 木 希 々 華
	まわりがカチン！	落部小学校	3	平 井 優 紀
	でんせつのかなぼう	相沼小学校	1	田 中 煌
小学校高学年の部	ペンギン、大丈夫!!	落部小学校	6	坂 本 錬
	おもいだしているシーン	相沼小学校	6	宍 戸 竣
	炎の中の思い出のひまわり	落部小学校	6	林 美 姫

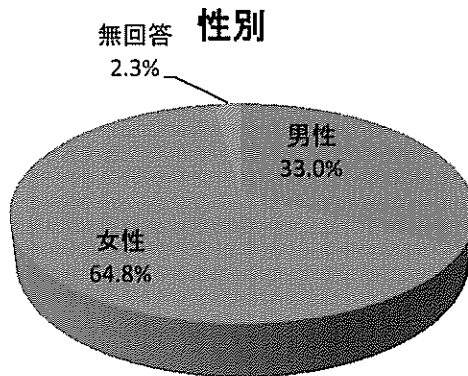


- 配布期間:10/17~11/30
- 配布場所:八雲町立図書館(熊石支所図書室及び移動図書館車ステーションを除く)
- 対象者 :中学生以上の利用者
- 配布枚数:300枚
- 回収枚数:261枚(87%)

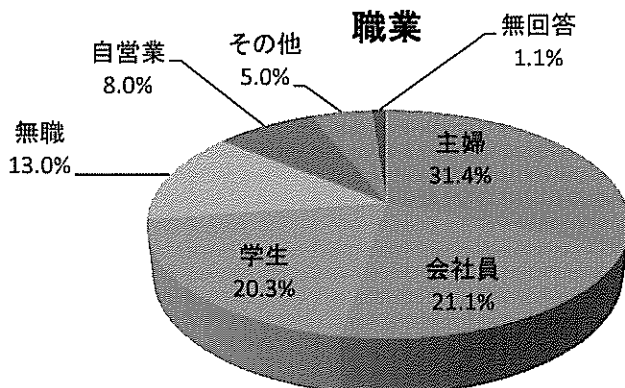
問1. あなた自身について、あてはまる数字に○をつけてください



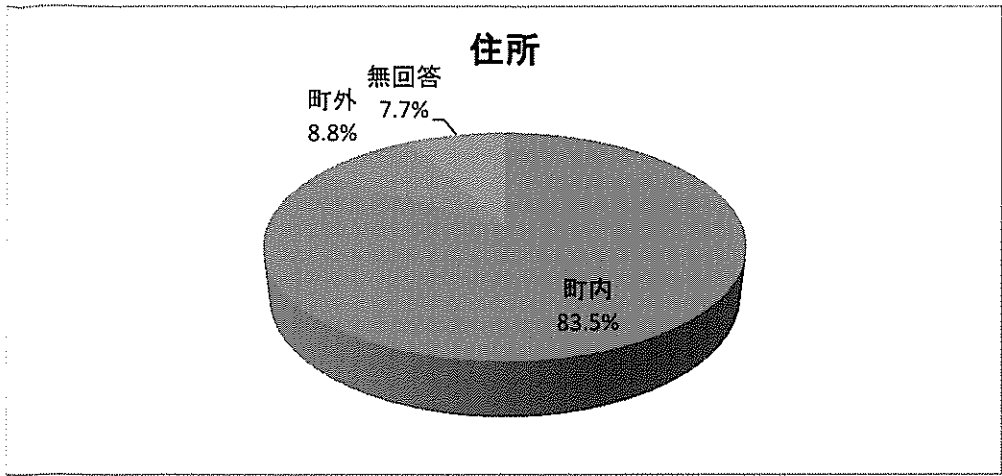
年齢	人数	割合 (%)
10代	54	20.7
20代	14	5.4
30代	44	16.9
40代	36	13.8
50代	42	16.1
60代	53	20.3
70代以上	18	6.9
合計	261	100.0



性別	人数	割合 (%)
男性	86	33.0
女性	169	64.8
無回答	6	2.3
合計	261	100.0



職業	人数	割合 (%)
主婦	82	31.4
会社員	55	21.1
学生	53	20.3
無職	34	13.0
自営業	21	8.0
その他	13	5.0
無回答	3	1.1
合計	261	100.0

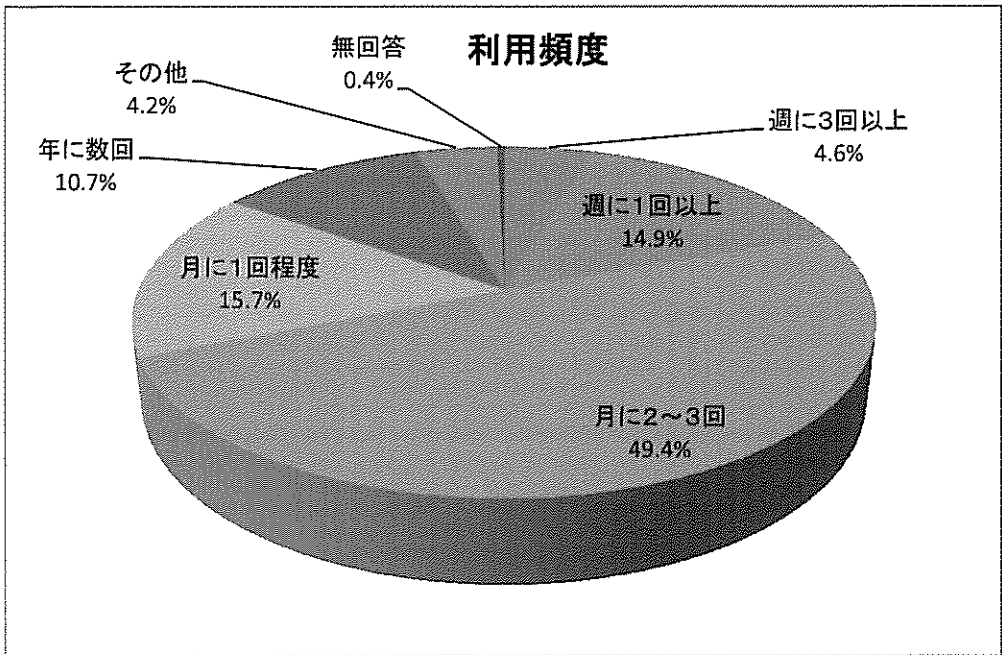


住所	人数	割合 (%)
町内	218	83.5
町外	23	8.8
無回答	20	7.7
合計	261	100.0

町内		町外	
出雲町	15	内浦町	4
東町	14	落部	3
東雲町	13	豊河町	3
栄町	12	元町	3
立岩	10	熊石	3
三杉町	9	山越	3
富士見町	6	花浦	2
住初町	5	本町	2
相生町	5	山崎	2
宮園町	5	栄浜	1
末広町	5	春日	1
		今金町	5
		長万部町	5
		せたな	4
		森町	2
		函館市	1
		鹿部町	1
		札幌市	1

\* 住所の記入は任意による

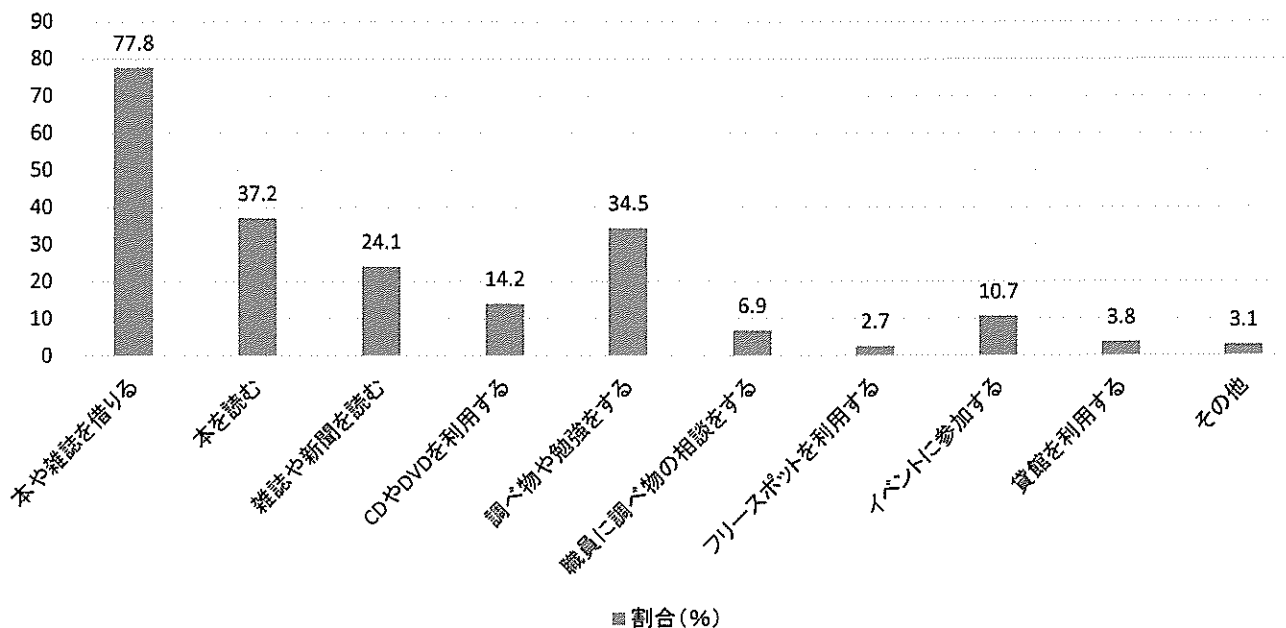
問2. あなたは八雲町立図書館をどれぐらいの頻度で利用していますか。



利用頻度	人数	割合 (%)
週に3回以上	12	4.6
週に1回以上	39	14.9
月に2~3回	129	49.4
月に1回程度	41	15.7
年に数回	28	10.7
その他	11	4.2
無回答	1	0.4
合計	261	100.0

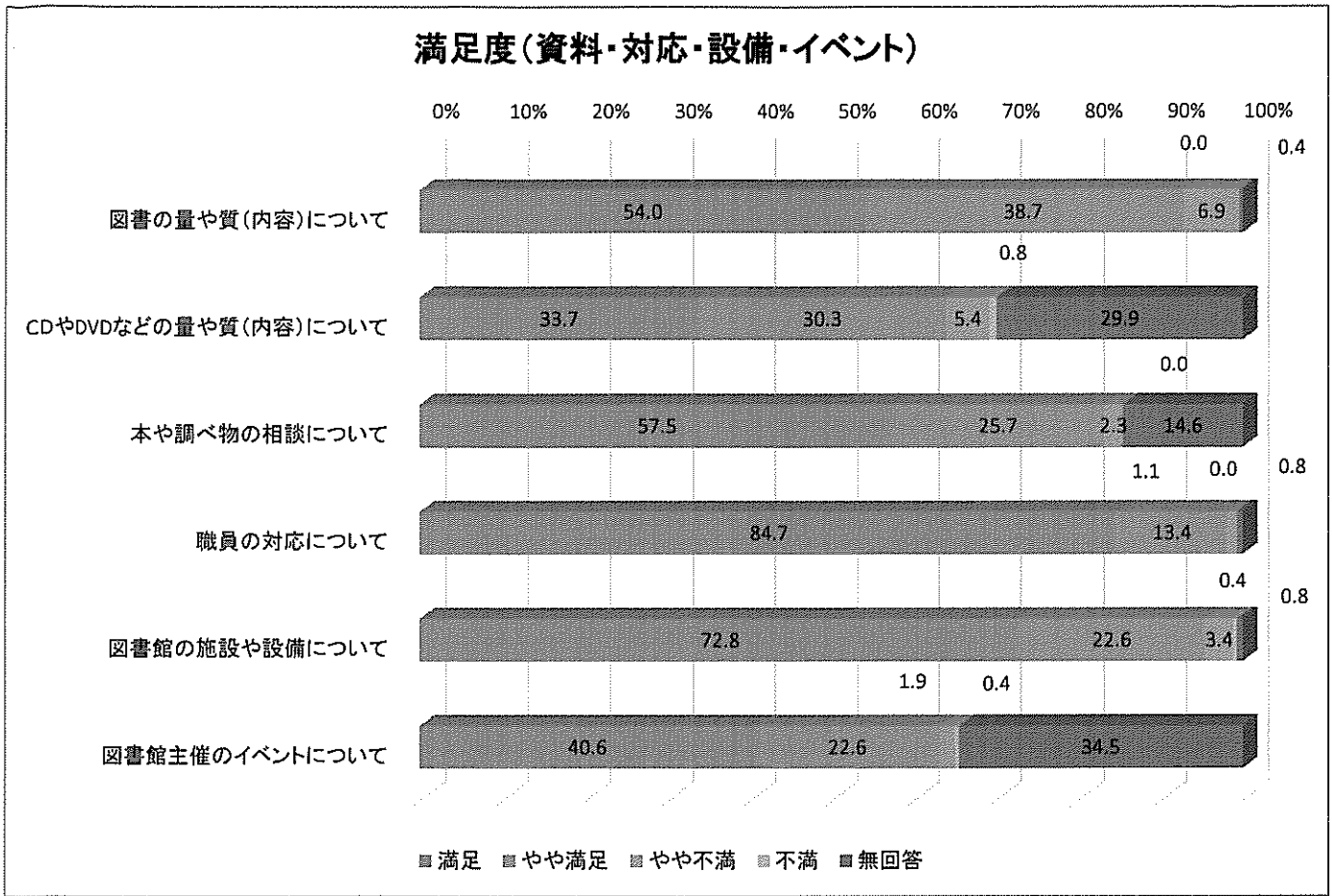
問3. あなたは八雲町立図書館をどのように利用されていますか。(複数回答可)

### 利用方法



	人数	割合 (%)
本や雑誌を借りる	203	77.8
本を読む	97	37.2
雑誌や新聞を読む	63	24.1
CDやDVDを利用する	37	14.2
調べ物や勉強をする	90	34.5
職員に調べ物の相談をする	18	6.9
フリースポットを利用する	7	2.7
イベントに参加する	28	10.7
貸館を利用する	10	3.8
その他	8	3.1

問4. 八雲町立図書館の満足度についてお尋ねします。



ア. 図書の量や質(内容)について

	人数	割合(%)
満足	141	54.0
やや満足	101	38.7
やや不満	18	6.9
不満	0	0.0
無回答	1	0.4
合計	261	100.0

イ. CDやDVDなどの、視聴覚資料の量や質(内容)について

	人数	割合(%)
満足	88	33.7
やや満足	79	30.3
やや不満	14	5.4
不満	2	0.8
無回答	78	29.9
合計	261	100.0

ウ. 本や調べ物の相談について

	人数	割合(%)
満足	150	57.5
やや満足	67	25.7
やや不満	6	2.3
不満	0	0.0
無回答	38	14.6
合計	261	100.0

エ. 職員の対応について

	人数	割合(%)
満足	221	84.7
やや満足	35	13.4
やや不満	3	1.1
不満	0	0.0
無回答	2	0.8
合計	261	100.0

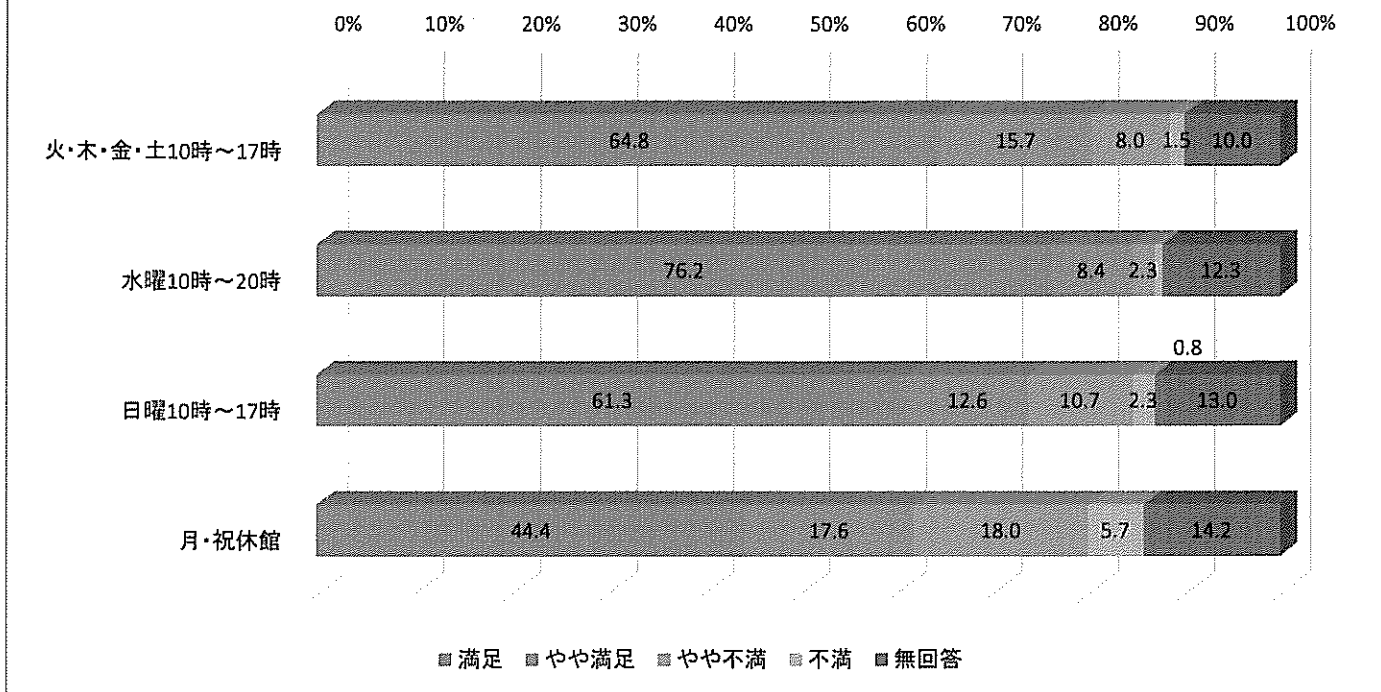
オ. 図書館の施設や設備について

	人数	割合(%)
満足	190	72.8
やや満足	59	22.6
やや不満	9	3.4
不満	1	0.4
無回答	2	0.8
合計	261	100.0

カ. 図書館主催のイベントについて

	人数	割合(%)
満足	106	40.6
やや満足	59	22.6
やや不満	5	1.9
不満	1	0.4
無回答	90	34.5
合計	261	100.0

### 満足度(開館時間について)



#### キ. 開館時間について

##### ①火・木・金・土10時～17時

	人数	割合(%)
満足	169	64.8
やや満足	41	15.7
やや不満	21	8.0
不満	4	1.5
無回答	26	10.0
合計	261	100.0

##### ②水曜10時～20時

	人数	割合(%)
満足	199	76.2
やや満足	22	8.4
やや不満	6	2.3
不満	2	0.8
無回答	32	12.3
合計	261	100.0

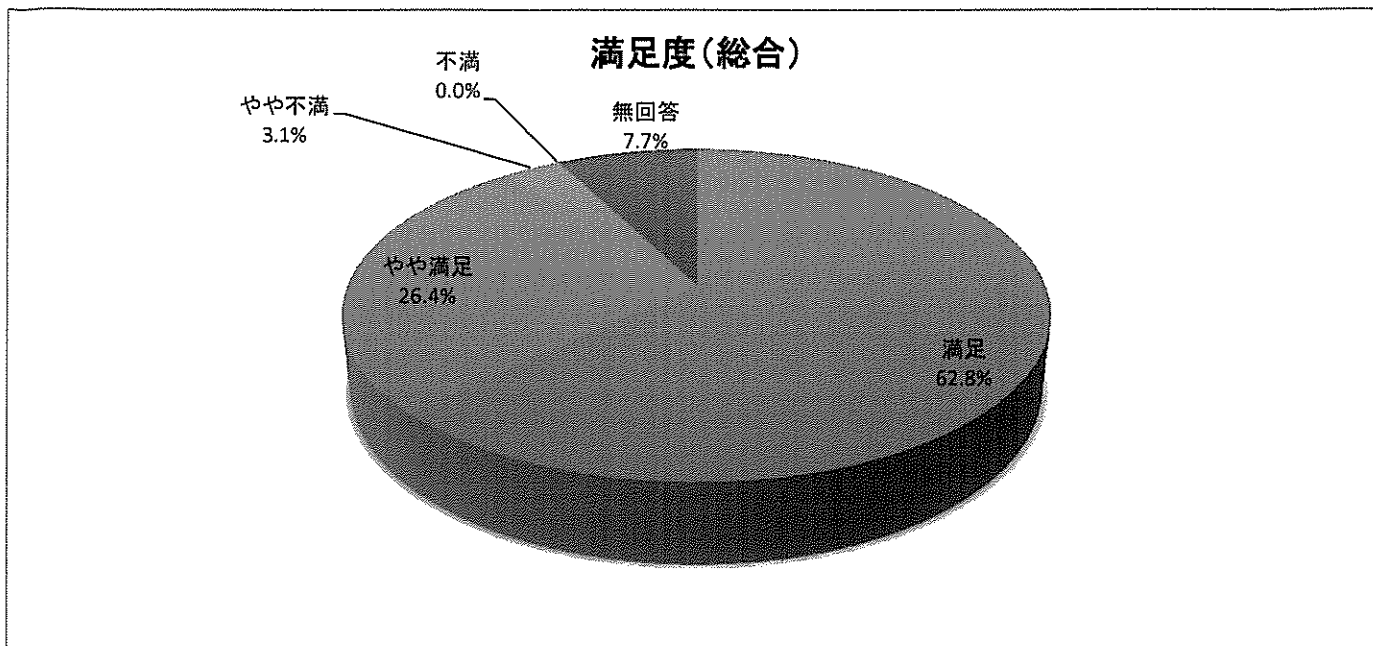
##### ③日曜10時～17時

	人数	割合(%)
満足	160	61.3
やや満足	33	12.6
やや不満	28	10.7
不満	6	2.3
無回答	34	13.0
合計	261	100.0

##### ④月・祝休館

	人数	割合(%)
満足	116	44.4
やや満足	46	17.6
やや不満	47	18.0
不満	15	5.7
無回答	37	14.2
合計	261	100.0

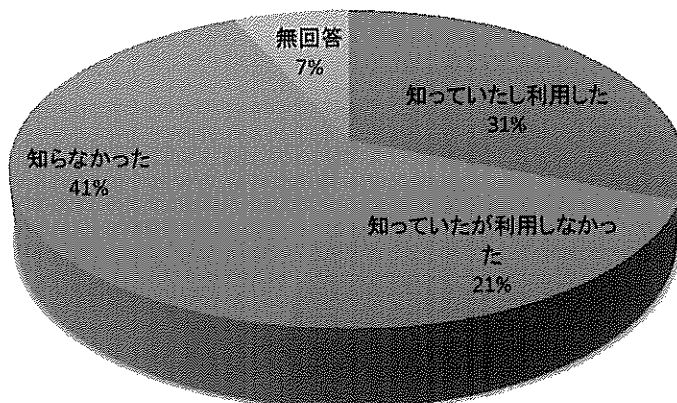
問5. 総合的にみて、八雲町立図書館への満足度をお答えください。



	人数	割合(%)
満足	164	62.8
やや満足	69	26.4
やや不満	8	3.1
不満	0	0.0
無回答	20	7.7
合計	261	100.0

問6. 今年度夏休み期間に月曜祝日の臨時開館をしていました。  
 ア. 臨時開館をしていたことを知っていましたか。また、利用しましたか。

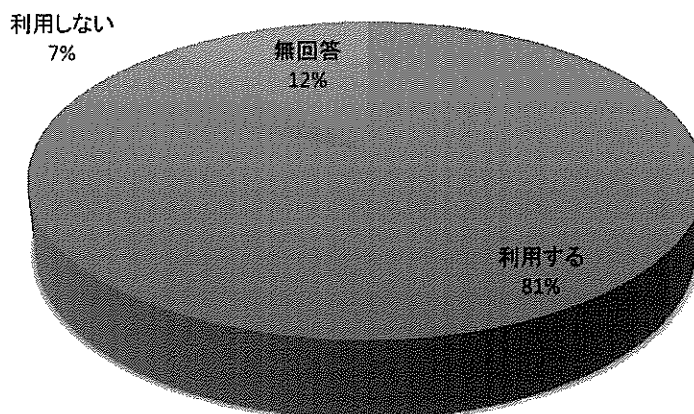
### 臨時開館の利用度



	人数	割合 (%)
知っていたし利用した	81	31.0
知っていたが利用しなかった	56	21.5
知らなかった	107	41.0
無回答	17	6.5
合計	261	100.0

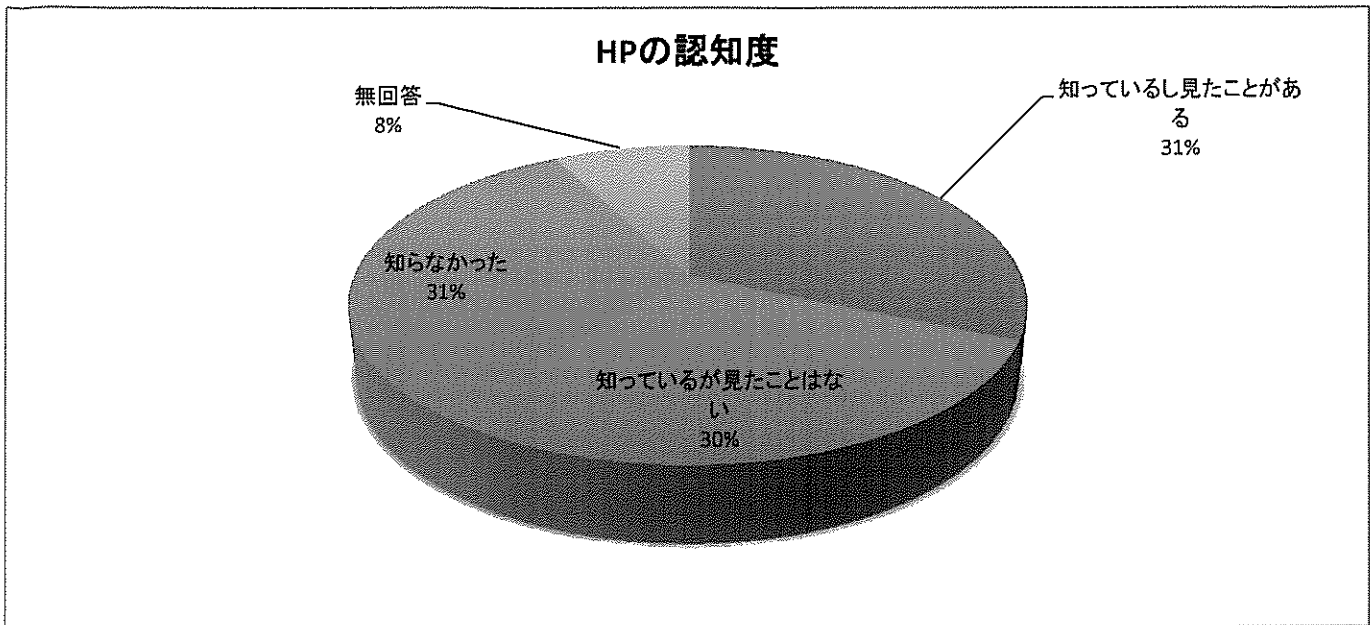
イ. 今後も長期休暇期間(冬休みなど)で臨時開館があれば利用しますか。

### 今後の利用について



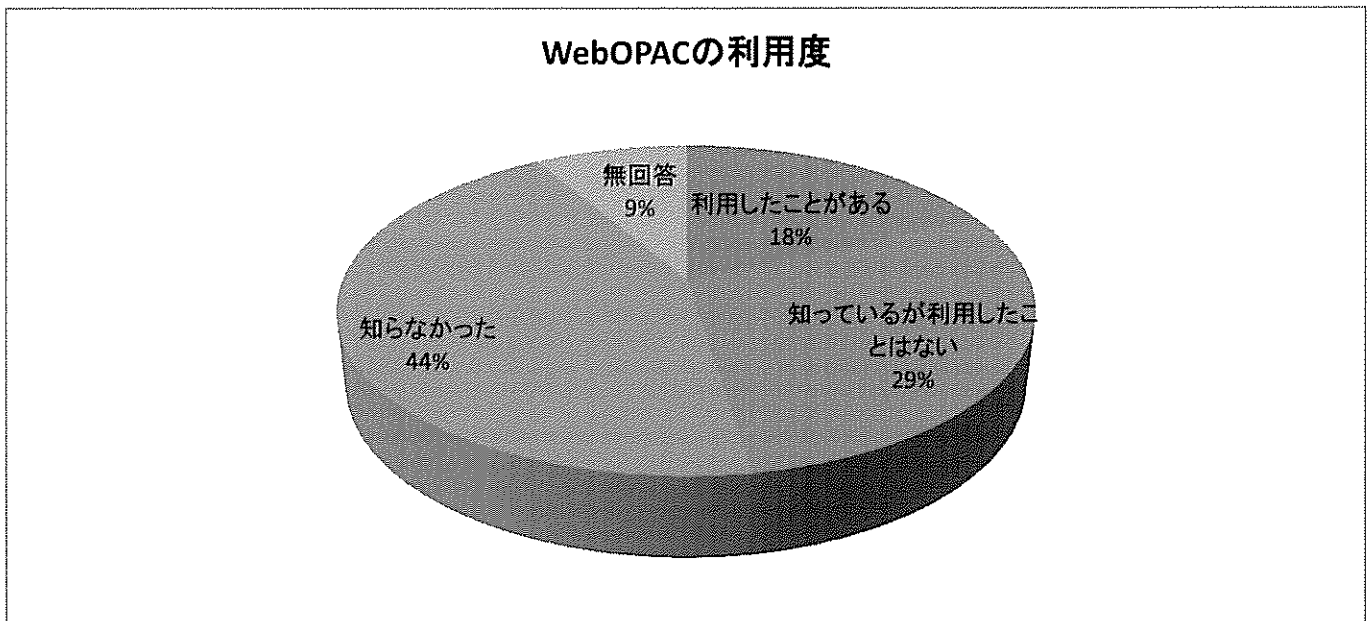
	人数	割合 (%)
利用する	212	81.2
利用しない	19	7.3
無回答	30	11.5
合計	261	100.0

問7. 八雲町立図書館ホームページについてお尋ねします。  
 ア. 八雲町立図書館のホームページがあるのを知っていますか。



	人数	割合(%)
知っているし見たことがある	82	31.4
知っているが見たことはない	77	29.5
知らなかった	82	31.4
無回答	20	7.7
合計	261	100.0

イ. ホームページから蔵書検索ができるのは知っていますか。また利用したことはありますか。

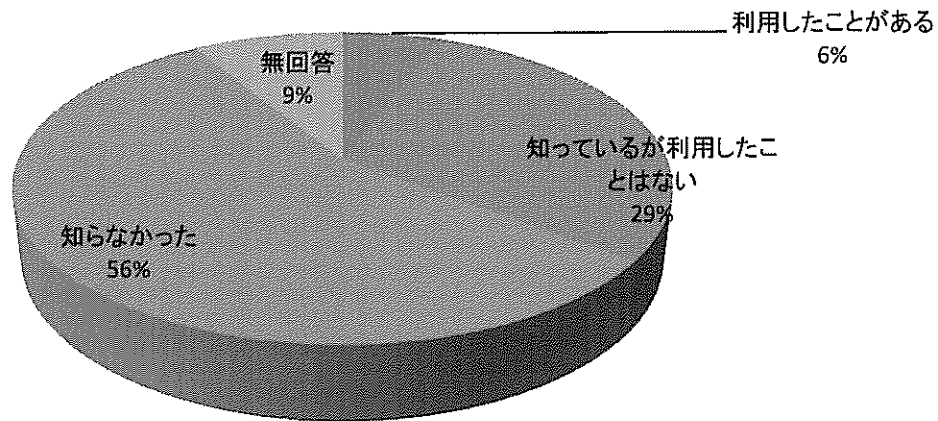


	人数	割合(%)
利用したことがある	48	18.4
知っているが利用したことはない	76	29.1
知らなかった	115	44.1
無回答	22	8.4
合計	261	100.0



ウ. ホームページから予約サービスが利用できるのを知っていますか。利用したことはありますか。

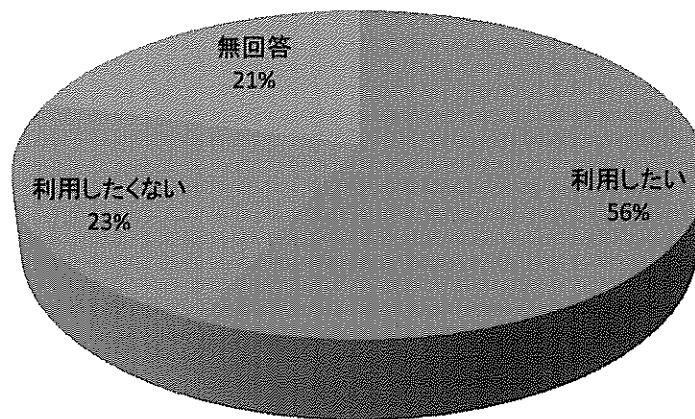
### 予約サービスの利用状況



	人数	割合 (%)
利用したことがある	15	5.7
知っているが利用したことはない	77	29.5
知らなかった	146	55.9
無回答	23	8.8
合計	261	100.0

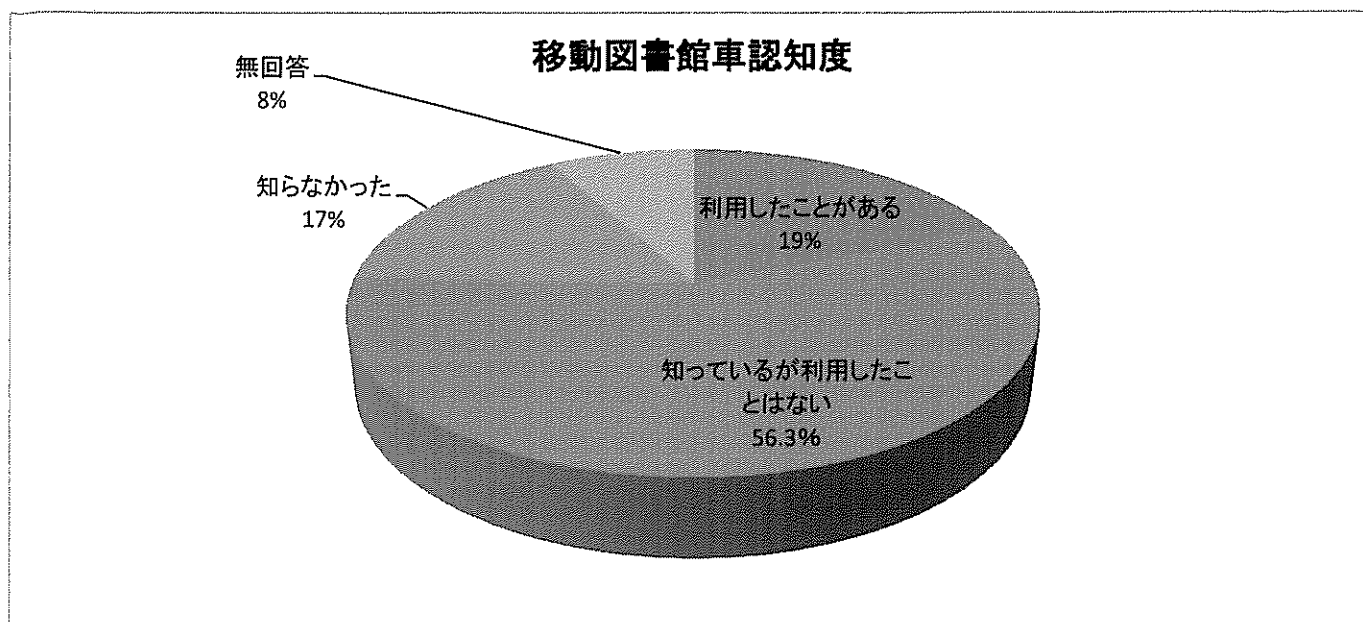
エ. 今後これらのサービスを利用したいと思いますか。

### 今後の利用について



	人数	割合 (%)
利用したい	147	56.3
利用したくない	60	23.0
無回答	54	20.7
合計	261	100.0

問8. 八雲町立図書館移動図書館車についてお尋ねします。  
 移動図書館車があることを知っていますか。また利用したことがありますか。



	人数	割合 (%)
利用したことがある	50	19.2
知っているが利用したことはない	147	56.3
知らなかった	43	16.5
無回答	21	8.0
合計	261	100.0

## 自由記入欄まとめ

( \* 一部同様の意見についてはまとめた)

### ◎開館時間について

- ・祝休館については不満なのでなんとかしてもらいたい
- ・祝日開館(職員の体制が整ったうえで)
- ・祝日は時間が短くても良いのであけてほしい
- ・祝日は学校が休みであるから子供たちの利用促進のためにあけてはどうかと思う(月曜日は休みでよいと思う)
- ・月曜開館について、臨時開館は歓迎です。月曜祝日は郡部から市街地に出てきてどこも休館だと悲しいです。落ち着ける場所なので、休館のあり方はぜひ検討してください。
- ・月曜日も利用したい
- ・開館時間が9時からだとうれしいです
- ・火・木・金・土の開館時間をもう少し長くしてほしい
- ・水曜日以外も20時まで開館してもらえたら嬉しい
- ・日曜日の開館時間が18時までだともっと良い。
- ・常に同じ開館時間にしてほしい。できれば20時までとか

### ◎館内環境・施設について

- ・ほとんど満足しているが、たまに小学生の笑い声がうるさい時がある
- ・時々利用者の話し声が大きい時があるので注意していただけると助かります
- ・子どものフリースペースを密閉していただけるとお互いにとって良いと思います。
- ・インターネットエリアを区切った方がいい。キーボードのタイプ音を気にする人もいるので
- ・静かで利用しやすい図書館だと思います
- ・緑に囲まれて静かで落ち着いた場所で癒しの場です。夏は冷房が嫌いなので自然の風が入ってきていいです
- ・図書館へ向かう通路側の窓ガラスに季節ごとの装飾をされているのを見るのが楽しみです。
- ・季節に合わせた図書館内の飾りも心が和みます。これからもよろしくお願いします。
- ・館内の雰囲気も良いです
- ・図書館ホールでのいろいろな作品を見るのも楽しみですし、お花もいつもいいなと思っています。
- ・ロビーで飲食することがあるのですが、入り口から入ってくると人と目が合うことがありますので、椅子の配置を工夫してもらえたらいいなと思います。
- ・飲食のできるスペースを作ってほしい
- ・ロビーなどにくつろいで飲食できるスペースを作ってほしい。  
そうすれば図書館へ行くのが、本の貸し借りだけでなく他の目的が出来る
- ・机がもう少し欲しい。机を増やしてほしい
- ・勉強できる席を増やしてほしい
- ・個別の勉強スペースが欲しい
- ・利用したことはありませんが、勉強できるコーナーがrippで充実していていいなと思いました
- ・夜間棚の暗いところがあるのが残念
- ・CDコーナーの利用者がいないので、PCのコーナーにしてほしい
- ・DVDの画質がもう少しきれいになるとうれしい。
- ・コピー機が新しいものだったらいいです。縮尺が上手くいかず何度か失敗してます。
- ・少し寒いので暖房をもう少し強くしてほしい

### ◎資料について

- ・新書もすぐ見れるのでとても感謝しています。ありがとうございます。
- ・新刊を借りる人が少ないのか、他市町に比べて予約してから借りれるまでの日数が少なくてとてもありがたいです。
- ・新刊をもっと増やしてほしい
- ・蔵書がほとんど変わり映えしないように思う。新刊本(話題の本)は待たずにすぐ読めるのが嬉しいが、新刊コーナー以外の棚もたまに見直し・刷新していただけたらなうれしい。
- ・もう少し本の入替があるといいです
- ・本を予約したとき、期限内に返却されず待たされたことが複数回ありました。  
返却期間を守るよう徹底していただけたらいいと思います。
- ・貸出期間がもう少し長いといいのでは
- ・雑誌の種類が多いとより良いと思うが、個人的意見です
- ・朗読を増やしてほしいです
- ・新しいCDをもう少しいれてもらいたい！DVDも多少増やしてほしい
- ・CDやDVDも借りられるようにいいと思います
- ・できれば高齢者向けようの文字の大きい本を増やしてほしい。そんなコーナーがあったら便利？
- ・読み聞かせ用大型絵本等徐々に充実してきているがさらに充実をお願いします。
- ・絵本の更なる充実を！

- ・紙芝居を増やしてください
- ・新しい作家さんの開拓がなかなかできず、これだけの本の中に必ず面白いものがあるはず！と思いながらいつも同じ作家さんの本を借りてしまうので、どこかの書店さんでやっていたような中身が分からない状態で借りるとか、おすすめ！みたいなPOPとかがあったらうれしいです。
- ・季節に合わせたテーマで置いてあるコーナーGOODです(^v^)体力づくり？ランニングの本借りました。
- ・教育用ビデオなどを町として配置しておいてほしい(学校ごと購入するより経済的にもいいと思います)
- ・特に旅行ガイドブックや手芸(特にパッチワーク)など新しいものを揃えていただければ嬉しいです
- ・初心者でも作れるお年寄り向けの壁紙作品集などがあるととても助かります。難しくなく幼稚っぽくないものならなおうれしいです
- ・問題集などを入れてほしい
- ・文庫本を増やしてほしい
- ・脳科学など日進月歩の分野はなるべく新しいものを入れてほしい。教育に関する本も新しいものが少ないと思います。たくさん入れる必要はありませんが、時代に合わせてほしいです。
- ・もっとアニメの小説(コナンなど)や歴史の本、ラノベを充実させてほしい。
- ・酪農関連の本や雑誌を充実させてほしい
- ・スポーツ(トレーニング)の本がもっとほしいです

### ◎サービスについて・その他

- ・HPは知っているが直接足を運んでぶらっと見てみたいので利用していません。もっと高齢になったら活用するかもしれません
- ・ホームページがあるのを知らなかったので見ようと思います。
- ・HPからリクエストもできればいいと思うのですが？
- ・ネットの状態がよくないので使えるようにしてほしい
- ・これからもたくさんのイベントなどがあると利用させていただきたいと思います
- ・素敵な催しをたくさん頑張っておられるのに、いかにせん参加者が少なすぎてもったいないですね。どうしたら町民の方々に宣伝できて足を運んでもらえるでしょうね。町民の意識の問題でしょうか。
- ・イベントなどの開催の時は小中学校にも知らせた方がいいと思います。
- ・イベントが少しありきたりで、もう少し目新しいイベントを期待したい
- ・新しい図書館車を購入すべき！
- ・冬季は移動図書館車を利用したいが、ルートや利用法が分からないのもっとPRしてほしい。車がないので冬季は特に近くまで来てくれるとありがたい。
- ・せたな町の住人にも本を貸していただけてありがたいです。10冊2週間おかりできるのも今金で返本できるようにしてもらってうれしいです。雑誌も同じく貸していただけたらと思います。
- ・今金で本を返却できるのはとても良い
- ・読みたい本が閉架になっていることがあるので、月に1回くらい閉架図書について知るコーナーを作ればいいと思います。
- ・リクエストの方法が分からない。気軽にリクエストポストがあるといいかも(もしあったらごめんなさい)
- ・入口などに、どのような職員や司書がいて得意な専門分野が何かを書いて掲示してもらえると利用するとき便利だと思う
- ・有料でいいのでコーヒーなどのドリンクサービスコーナーもあつたらいいと思う
- ・膝が痛くなってきて会階段が特につくようになってきたので、エレベーターを常時使用可能にしていだけないでしょうか？
- ・買い物帰りに生ものを持っていて寄れない時があるので、預けるところがあればいいと思う
- ・図書司書はたまにカウンターに在席すべし
- ・職員の方の対応も、質問等もしやすく親切だと感じる
- ・施設もきれいだし本もたくさんあって恵まれていると感じています。イベント等も頑張ってください感謝です。子どもの教育にも本当にありがたい存在です。これからも利用し続けます！
- ・いろいろ公共施設がありますが一番いいと思います。本の大好きな子供が増えるといいと思います。
- ・特集コーナーいつも興味を引く企画で素晴らしいです。常時細やかな改善を感じる。今後も頑張ってください。町内の公共施設で一番良い印象の施設です。
- ・来やすく居心地がとてもいいところです。時間を忘れるくらい集中できるので満足しています
- ・職員の方が大変親切で利用相談しやすいです。いつもありがとうございます。
- ・限られた予算の中で本を収集するのは大変だと思います。利用者も迷惑をかけないようにマナー、ルールを守らなければならないと思います
- ・本を読む人口が増えるとうれしい。図書館に一度も来たことがない方に最初の一步を踏み出させるきっかけを今後期待します。

## 領域8 図書館

### 1 現状と課題

本町においては、充実した施設、設備を有した図書館があり、多くの町民に利用され、生涯学習を進める上での重要な拠点施設として、多彩な事業を展開し、迅速な資料の収集と提供に努め、機能の充実が図られています。

今後は、町民の様々な学習活動や調査研究を支援するため、閲覧・貸出・レファレンスサービス等を維持しながら、地域の情報拠点として、さらなる充実を図ることが大切です。

### 2 課題解決と改善の基本方向

基本方向	基本目標
1 町民の生活・仕事・学校・産業等各分野の課題解決を支援する図書館サービスを強化する必要があります。	<ul style="list-style-type: none"><li>○ インターネットを活用した蔵書の公開</li><li>○ 図書館資料とインターネットを組み合わせた高度な情報提供の確立</li><li>○ ビジネス支援・子育て支援等町民の社会生活に結びついた資料の提供</li></ul>
2 学校・公民館・保健福祉課・各種団体等との連携による読書活動の推進を図る必要があります。	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 行政・各種ボランティア団体との連携及び各種図書館事業の充実</li><li>○ 学校との連携による児童・生徒の読書活動の推進</li><li>○ 各種ボランティア団体の育成及び、朗読ボランティア等の支援</li></ul>
3 利用者の視点に沿った弾力的な図書館運営を進める必要があります。	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 利用者・利用団体等への積極的な広報活動</li><li>○ 熊石総合支所図書室の充実</li><li>○ 利用者の利用しやすい時間帯等の設定</li></ul>

そのため、インターネットを活用した蔵書の公開を実現するとともに、ビジネス支援や子育て支援等、社会生活に結びついた資料を提供し、利用者にとって役に立つ図書館づくりが求められています。

また、学校や公民館・各種団体等と連携しながら、児童生徒の読書活動の充実を図るとともに、ボランティア団体の育成と支援を強化し、各種図書館事業を推進する必要があります。

#### 具体的な方策

- ・インターネットを活用した、蔵書検索機能の充実を図ります。
- ・フリースポットの活用を促し、デジタル資料の収集・提供を推進します。
- ・レファレンスサービスの充実を図ります。
  
- ・課題解決を支援する生活関連図書の充実を図ります。
  
- ・ボランティア団体・保健福祉課と協力してブックスタート等、子育て活動を支援します。
- ・各種図書館事業の内容の改善と充実を図ります。
- ・学校と連携した事業を開催し、子どもの読書活動を推進します。
  
- ・ボランティア育成の講習会を実施します。
  
- ・広報活動の内容充実を図るとともに、ロビーを効果的に活用し、親しみやすい図書館を目指します。
- ・熊石総合支所図書室の利用拡大を図ります。
- ・移動図書館の効果的な運行計画を検討します。

(参考資料)

第2期八雲町教育推進計画（前期）について（案）

基本方向

- 1 町民の生活・仕事・学校・産業等各分野の課題解決を支援する図書館サービスの強化する必要があります。

基本目標

- 図書館資料とインターネットを組み合わせた高度な情報提供
  - 郷土資料等の電子化・電子図書導入の検討
  - ビジネス支援・子育て支援等町民の社会生活に結びついた資料の提供
- 2 学校・公民館・各種団体等との連携による読書活動の推進を図る必要があります。

基本目標

- 行政・各種ボランティア団体との連携し、各種図書館事業の充実
  - 学校との連携による児童・生徒の読書活動の推進
  - 各種ボランティア団体の育成・支援
  - 八雲町子ども読書活動推進計画の策定
- 3 利用者の視点の沿った弾力的な図書館運営を進める必要があります。

基本目標

- 町民アンケート調査の実施
- 利用しやすい開館日の設定
- 分館・分室構想の具現化

## 八雲町移動図書館バス在り方について (案)

【八雲町教育委員会】

### 1 移動図書館バス廃車から今日までの状況

移動図書館バスは、平成28年1月に故障し、2月には廃車となる。以後、配本冊数を減らしながらも各地域や地区、小中学校への配本を継続し今日に至っている。

### 2 移動図書館バスに関する教育委員の見解

平成28年2月25日に行われた第2回教育委員会において  
別添資料

### 3 移動図書館バスに関する文教厚生常任委員会の提言

平成28年3月17日に行われた文教厚生常任委員会において

### 4 文教厚生常任委員会からの質問

平成28年12月14日に行われた文教厚生常任委員会での質問

- ・「各委員から、バスを購入するよう強い要望を挙げていたが、今議会の答弁はまったく消極的なものであり、このような後ろ向きの答弁ならば、質問内容を変えるべきであった。改めて教育委員会の考え方を伺いたい」
- ・「今後の方向性について、何時かの段階で説明を求める」

#### 【回答内容】

#### 移動図書館車に関する教育委員会見解

今年1月に故障し、以後廃車となりました移動図書館車のそれまでの運行状況につきましては、一般町民を対象として、本町地域には2か所、落部地域には2か所、熊石地域には1か所にそれぞれ40～100冊程度の配本の入れ替えを行っていましたが、利用状況は芳しくなく、ほとんど借りられていない地域もございました。

一方、本町地区を除く各学校への配本については、子どもたちが心待ちにし、積極的に利用されているという状況にあり、バスの廃車後におきましても、代替え車によって配本を行っている状況にあります。

今後の移動図書館の在り方につきましては、あくまでも地域住民の方々のニーズに対応したサービスの提供という主旨のもと、改めて、各地域の方々の図書への関心や移動バスの要望等を把握するとともに、生涯学習の基盤となる読書活動の啓発に努め、今後の対応について検討してまいりたいと考えております。

また、各学校におきましては、今年度、学力が飛躍的に向上し、その要因の一つに朝読書の励行や図書館の配本にあると分析しているところであります。

今日、学校教育と社会教育の融合ということが重要視されており、学校教育における読書指導、図書館教育の発展として図書館の本を学校に届けて有効活用を図るという活動も含め、その成果等を十分に勘案し、教育委員会関係課で横断的に移動図書館のためのバスの必要性についても鋭意検討してまいりたいと考えております。



## 5 調査研究

- ① これまでの移動図書館の利用状況の確認
- ② 各地区配本所の利用者の声
- ③ 校長会等の各団体からの意見・要望
- ④ 図書館分館としての候補の視察

## 6 教育委員会としての最終的な判断

本来の主旨である図書館に遠い地域の方々に対してのサービスについて、その必要性を強く求める声はなく、特に、本町地区においては、「冊数が十分でないこともあるが、読みたい本があれば図書館に行って借りる」というのが現実の声であり、他の地区においても必要性を訴える声は少ない。

一方、各学校においては、子どもたちが楽しみにしているという声は多いが、担当者の負担や図書館職員の負担を感じている声も多い。

また、各学校においては、国で定める『学校図書館図書基準』の蔵書数が確保されていない状況にあることから、まずは、充足率を高める手立てをとる必要がある。平成29年度から熊石地域の小中学校は、いずれも一校となり、図書館の冊数は、基準を大きく上回ることが予想されるとともに、余剰分は、八雲、落部の学校に振り分けることも考えたい。

移動図書館については、当面、29年度も継続して各地区への配本を行うが、多くの利用者が見込まれる落部地区（支所）、熊石地区（総合センター）とともに、熊石小学校は玄関ロビーが広く、児童のみならず、一般の方々も利用できる図書館分室としての機能が果たせると考える。

いずれにしても、新たな取組について町民に広く周知するとともに、生涯学習の基盤となる読書活動の啓発を進める中で、29年度1年間をかけて移動図書館車（バス）の必要性について調査研究していきたいと考えている。

## 八雲町

### 移動図書館バスの在り方について

#### 別添資料

- 1 教育委員の見解  
(H. 28. 2. 25)
- 2 文教厚生常任委員会の提言  
(H. 28. 3. 17)
- 3 移動図書館の利用状況
- 4 配本所の利用者の声
- 5 校長会・図書館協議会からの意見・要望
- 6 学校図書館図書標準
- 7 八雲町立図書館分館（分室）構想

## 1 教育委員の見解

日時 平成28年2月25日(木) 11時15分～12時

場所 公民館応接室

参加者 宮田委員長・松永委員・羽田委員・藤内委員・教育長  
萩本学校教育課長・本庄参事・吉田学校教育課長補佐

- ・足立館長より、今回の事故の経緯と協議内容について説明、廃車とすること。今後のことは白紙である。
- ・移動図書館車は絶対必要。子どもたちの読書活動は20年・30年先に実を結ぶことになる。宣伝効果も兼ねている。これまでのやり方が悪かったので、事前に積載している図書をお知らせし借りてもらうなど方法を変えてみたい。(教育長)
- ・1冊の本を色々な人に読んでもらうことが大切では。図書館にだけあっても読まれない。眠っている本を活用してもらう。(宮田委員)
- ・広報活動を強化して、町民に本を手渡すことは大事なこと。(松永委員)
- ・本を読まない人へのアピール(藤内委員)
- ・今の時代にあったもっとコストを考えて違う目線で考えることも必要。(羽田委員)

### 3 移動図書館の利用状況

配本場所		配本冊数	27年度利用状況		28年度利用状況		備考
			4月～3月		5月～12月		
本 町	東部生活館	80冊		153人		80人	
	総合病院神経科	40冊		79人		18人	
落 部	栄浜佐藤商店	40冊		2人		0人	
	落部支所	80冊	46人	90冊	81人	167冊	
野田生	小林商店	50冊		39人		99人	
山崎	安井商店	40冊		19人		25人	
熊石	熊石総合支所	100冊	477人	1,535冊	400人	1,325冊	
小  中  学  校	落部小学校		462人	1,107冊	328人	906冊	
	落部中学校		14人	31冊	8人	12冊	
	東野小学校		147人	568冊	120人	386冊	
	野田生小学校		137人	373冊	84人	206冊	
	野田生中学校		76人	149冊	29人	74冊	
	山越小学校		165人	985冊	124人	632冊	
	浜松小学校		160人	494冊	162人	582冊	
	山崎小学校		133人	793冊	80人	331冊	
	相沼小学校		226人	993冊	184人	730冊	
	泊川小学校		75人	399冊	78人	391冊	
	熊石第二中学校		70人	158冊	19人	53冊	
	雲石小学校		198人	606冊	268人	766冊	
関内小学校		47人	166冊	37人	102冊		
熊石第一中学校		48人	172冊	26人	108冊		
各学校の総計			1,958人	6,994冊	1,547人	5,279冊	

## 4 配本所の利用者の声

### ◎山崎安井商店

- ・毎月の利用者は平均2～3名
- ・高齢の女性、主婦、児童
- ・冊数が限られているので、読みたい本が無ければ、図書館まで借りに行く。(60代女性)
- ・移動図書館車を購入したとしても、巡回時間に借りに行けるかは、仕事や予定が入ると借りに行けない。(50代男性)
- ・今の配本冊数を増やす方法も検討してみてもどうか。(50代男性)

### ◎野田生小林商店

- ・毎月3名程度利用している。
- ・冊数も増えて、読みたい本が増えた。(50代男性)
- ・地域の人たちに本を置いていることを周知すれば、もっと利用は増えるのでは。(60代女性)
- ・移動図書館車を走らせるのであれば、地域の人が集まりやすい場所が良いと思うが、なかなか現状では適当な場所が見つからない。(60代女性)

### ◎栄浜佐藤商店

- ・毎月1～2名利用している。
- ・子どもも少なくなり、高齢化で本を読む人が減っている。(50代男性)
- ・地域で読書好きな人を把握し、配本所もそうした人たちの自宅に置いてみてはどうか。(50代男性)
- ・配本所の周知をしてはどうか。(50代男性)
- ・移動図書館車を走らせるとなると、時間帯が日中だと利用者は少ないのでは。(50代女性)

### ◎落部支所

- ・固定の利用者が利用している。
- ・リクエストも受付してくれるので助かる。(70代男性)
- ・落部地域のステーションの設定は、町内会の人たちとも協議して、出来るだけ多くの人に利用してもらう努力をするべき。(50代男性)
- ・今の支所に置いてある書架の場所は、本好きな人は借りるが、もっと、利用しやすい雰囲気づくりも必要ではないか。(40代男性)

### ◎東部生活館

- ・ミニバレー、子ども会の集まり、ウタリ刺繍の集まりの時は、利用されている。
- ・本だけを見に来る利用者は現在はいない。
- ・催しの無い日は、開館時間が基本13時～17時のため、開いている時間が限られている。(60代男性)
- ・地域のコミュニティの場所として、催しのある日に移動図書館車が来れば借りる人もいるのではないか。(50代男性)

### ◎熊石地域

#### (相沼・泊川地域)

- ・学校が無くなると地域の住民が集まる場所が熊石総合センターが中心となると思うので、移動図書館車が来ると活気が出ると思う。(60代男性)
- ・地域の人が集まる場所として、郵便局も配本所として活用してはどうか。(60代男性)
- ・総合センターに総合支所図書室や町立図書館の本を返しに来る人が月に5名程度はいる。(60代女性)

#### (雲石地域)

- ・国道から、ひらたい荘に入る入口付近(熊石平)に移動図書館車のステーションがあると利用する人がいると思う。(70代女性)
- ・雲石小学校の児童玄関ロビーに図書を置く事が出来れば、地域の人にも利用してもらえと思う。(50代男性)

### ◎全体を通して

- ・八雲地域は、地域のコミュニティの場所として学校が中心となる。これまでどおりステーションを学校にした場合は、地域町内会に周知をするとともに、学校から保護者への学校だより等で巡回していることを徹底させなければ、地域の利用の増にはつながらない。  
八雲地域では、配本所に行って希望の本が無い場合は、図書館まで借りに行くという声が聞かれた。
- ・熊石地域は、学校の統廃合により、相沼・泊川地域は、総合センター及び郵便局が中心となったサービスの充実を図る必要がある。雲石地域は、移動図書館車巡回時に利用していた町民が熊石平に在住しており、巡回場所の一つとなる。また、現在の雲石小学校の玄関ロビーを活用した配本も可能である。

## 5 校長会・図書館協議会からの意見・要望

### (1) 八雲校長会の移動図書館車に係る意見集約について

○移動図書館車は必要ない。ただし、多くの本に親しませ観点から、町図書館を活用した取り組みを進められることを考えるとよいと思います。町図書館の本紹介を行い、休みの日などに各自で図書館に本を借りに行きやすくなるようにする。もの可能なら、各学校とオンラインシステムで本の検索が簡単に進められるようにすることも方法の一つでしょう。(これも初期投資がかかりますが)

#### A 中学校

○ぜひ、バスを新規購入してほしい。

- ・移動図書は児童が必ず利用している。毎回4～5冊ほど借りて読んでいる。
- ・八雲の子どもたちに読書の習慣をつけさせることは、学力向上と深く結びついている。
- ・インターネット利用が進んでいるが、実際の読書の必要背は変わらない。
- ・深い学びの環境や知的レベルの高い町づくりのためには必要。
- ・現在の方法では、一般利用者が来なくなってしまっている。
- ・図書館バス自体が、学びの環境のひとつになっています。図書館バスがくる「わくわく」した喜びが、主体的に学ぶ力をつけることにつながると思います。

#### B 小学校

- ・可能であれば移動図書館車を存続させていただきたい。

#### C 小学校

- ・本校では地域住民の利用がないので、移動図書館車の必要性は感じていない。図書館職員にはお手をかけるが、現在のような方法で移動図書を行っていただければ子どもにとっては本に親しむ機会になる。

#### D 小学校

- ・移動図書から「かりなくてはならない」という意識が働いている児童もいる。学校図書館の利用を第一に考え、町立図書館との連携(大量貸出、読み聞かせ等)により、魅力ある学校図書館づくりに力を入れていきたい。

#### E 小学校

(2) 図書館協議会委員からの声

- ・市街地とそれ以外の地域にはどうしても距離感がある。市街地は充実しているかもしれないが、やはり市街地以外はそれなりに不満などもある。同じ八雲町であるのに違いがあるが、それを埋めるのが移動図書館車の一つの役割ではないか。教育に費用対効果という言葉をあてはめるのはいかななものか。
- ・ネット社会になっているから移動図書館は無くてもよいという話もあるが、それは大人の都合でしかなく、子どもはメールリクエストだって使えない。子どもの場合、目の前で本を選ぶわくわく感や紙をめくることがの楽しさというのは必要なことである。子どものための費用というのは惜しんではいけない。



町内各小中学校の蔵書冊数等調査の結果

八雲町校長会

学校名		普学数	特学数	標準冊数	H27蔵書数	H28購入	H28寄贈	H28廃棄	現在の冊数	充足率(%)
小 学 校	落部	6	3	6,520	5,376	66	66	0	5,508	84.5
	東野	4	1	4,560	1,959	20	19	0	1,998	43.8
	野田生	3	0	3,520	4,043	24	13	0	4,080	115.9
	山越	3	1	4,040	2,379	33	13	0	2,425	60.0
	浜松	3	2	4,560	2,205			0	2,301	50.5
	八雲	16	3	10,560	5,799	116	23	0	5,938	56.2
	山崎	2	0	3,000	1,952				1,972	65.7
	相沼	3	0	3,520	3,347	66	11	0	3,424	97.3
	泊川	3	0	3,520	3,336	28	13	0	3,377	95.9
	雲石	4	2	5,080	7,515	71	53	4,050	3,589	70.6
	関内	1	0	2,400	3,592	14	13	0	3,619	150.8
	小学校計			51,280					38,231	74.6
中 学 校	落部	3	1	6,080	3,171	31	14	0	3,216	52.9
	野田生	3	2	6,080	4,034	62	0	0	4,096	67.4
	八雲	9	2	10,160	16,921	139	16	0	17,076	168.1
	熊石第一	2	1	5,440	5,004	42	29	0	5,075	93.3
	熊石第二	3	0	5,440	2,921	50	14	0	2,985	54.9
	中学校計			33,200					32,448	97.7

## 八雲町図書館分館（分室）構想

### 1 落部支所

#### 【現在】

- ① 玄関ロビーに80冊程度の配本（スチール書架1台）
- ② 『図書室』に千冊程度の蔵書が置かれてあるが、貸出の形跡はなく放置されている状態

#### 【構想】

- ① 玄関ロビーに図書コーナーを設ける。（300 cmのコーナーに熊石総合センターの木造書架2台〈幅150.5段〉を設置する）
- ② 『図書室』の蔵書で利用できるものは、新たな図書コーナーに陳列する。不足分については、図書館からの蔵書で補充する。〈いずれの選定も図書館職員〉
- ③ 『図書室』に残された蔵書は、町民に還元する。残りは破棄する。
- ④ コーナーの雰囲気づくり、デコレーション等は、藤本司書を中心に図書館職員で行う。

### 2 熊石総合支所

現在の状況で十分であり、定期的な配本を継続する。新たな看板の設置が必要。

### 3 雲石（熊石）小学校

玄関ロビーに一般図書のコーナーを設置するとともに、廃校からのソファ、テーブルも設置する。〈蔵書は、総合センター及び図書館からの提供〉

また、児童向けの配本コーナーも設置する。書架は、相沼小学校等、廃校舎からのものを利用する。看板の設置。

### 4 熊石総合センター

1階ロビーに図書コーナーを新設し、2階『図書室』の蔵書の中から利用できるものについては、活用するとともに、不足分は図書館から提供する。

また、児童図書のコーナーも設ける。

書架は、2階『図書室』のものを活用する。〈植杉副町長の了承〉

看板設置。

※ 図書館標準冊数に満たっていない学校については、廃校となる学校の図書で補充するとともに、さらに不足の場合は、落部支所図書室及び図書館からの提供でまかなう。